タイトル
生徒と図形描画を使ってもっとリアルな英作文

校種	制限なし	学年・年次	小学校高学年以上
児童・生徒数	制限なし	主な活用プロダクト名	Google ドキュメント Google 図形描画
準備すべき機器など	特になし	その他	特になし

学習活動の概要（所要時間・授業概要・目標）

Google ドキュメント を使って英作文の課題に取り組ませている時、ノンフィクション・テキストフィーチャー（図、注釈、さし絵やイラストの説明等）を自由に挿入させるのが難しいことがあります。解決策として、Google 図形描画を使用すると、ドキュメント内の挿絵に注釈、ドキュメント内の好きな場所にテキストボックスや写真を付け加えたり、生徒は英作文に簡単に「リアル」な情報を挿入するすることができます。

活用するメリットや期待できる学習効果

・Google 図形描画を使うと、自分の考え（ベン図、年表、コンセプトマップ、フローチャート等）をビジュアルに、まとまった形で表現できる。
・リアルな写真や、色付きのテキストボックスをドキュメント内の好きなところに配置できるので、構成力がつく。
・Google ドキュメント と図形描画を連携すると生徒にとってワークフローがさらに簡単になる。
・Google ドキュメント や図形描画は単独でも利用でき、小学生からシンプルなので使いやすい。
・教員は、Google ドキュメント や図形描画のテンプレートを予め用意しておき、Google Classroom を通してコピーを配布するこが用意にでき、安易レベルをコントロールしやすい。

授業の進行

Google ドキュメント（英作文）に挿入する Google 図画描画の例

No.	内容	児童生徒の学習活動	指導上の留意点
1	英作文の構成について学習	英作文（ノンフィクション）のテキスト（本文）以外の構成について学習する。	ノンフィクションの本や図鑑、レベルにあったウェブサイトを見せ、生徒とノンフィクション・テキストフィーチャー（図、注釈、付録、さし絵やイラストの説明等）について確認する。 フィクション（物語）との違いも確認する。
2	Google ドキュメント を開始、教員と共有	プランナーや手書きの下書きを読み、Googleドキュメントに文章をタイプしていく。	年齢や経験レベルによっては、教員が Google ドキュメントのテンプレート（ページごとにどんな情報をまとめるのか）をあらかじめ用意して、Google Classroom からコピーを配布すると良い。
3	Google 図形描画を開始	Google ドキュメント 内から、メニュ→挿入→描画→ドライブから （または新規）選択する。 文章内で適宜、Google 図画描画を挿入する。	年齢や経験レベルによっては、教員が Google 図形描画のテンプレート（ベン図、コンセプトマップ、フローチャート等）をあらかじめ用意して、Google Classroom からコピーを配布すると良い。
4	Google ドキュメント をペアと共有	Google ドキュメント 内の共有から自分のパートナーを選んで共有する。または、教員が用意したリストにあるリンクを選んでお互いの英作文のページをリビューする。	初めからGoogle Classroom で課題として与えている場合、進歩状況を簡単に確認でき、教員と共有させるステップを省ける。